

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載 不要	有限会社 大嶺建設 代表取締役 大嶺 春子	当社は民間工事を中心に建設業を営み、地域に根ざした施工を続けています。事業活動を通して、安全で働きやすい職場づくり、建設廃材の分別と再資源、省エネルギーへの配慮に取り組みます。 現場では安全を徹底し社員や協力会社を含めた労働災害防止に努めます。あわせて、資材の適正管理や周辺環境への配慮を進め、地域社会と調和し維持可能な建設業を目指します。 【 SDGs の達成に向けた取り組み内容 】 3. すべての人に健康と福祉を ・ うちなー健康経営宣言、健康診断（100％）の徹底しています。 ・ 週休 2 日制の実施、有給休暇を積極的に取得させています。 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・ ゆいくる資材（リサイクル資材）を積極的に使用しています。 8. 働きがいも経済成長も ・ 業務に必要な資格取得には、助成金等を活用し積極的に資格取得をさせています。 11. 住み続けられるまちづくりを ・ 各建設業団体にて地域のボランティア美化活動を実施しています。 13. 気候変動に具体的な対策を ・ 建設機械の排出ガス対策として ② アイドリングストップの徹底しています。 ② 燃費改善運転（エコドライブ）をしています。 普及に向けた予定している具体的な取組 ヘルメット印刷 現場での安全活動と SDGs の関連性を示し、社員の意識向上にも効果。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載 不要	学習受験社ガゼット 代表取締役社長 吉田 知生	当社は、中学受験専門の学習塾として、沖縄の子どもたちに学習環境と学ぶ機会を提供しています。「社会で活躍する人づくり」という理念のもと、教育を通じて子どもたちの学びや成長を支え、沖縄の地域社会に貢献することを目指しています。こうした事業活動を通じて、SDGs の達成に取り組んでいます。 【4. 質の高い教育をみんなに】 ・ 中学受験専門の学習塾として、子どもたちの学力や思考力を育むとともに、社会で活躍するための力を身につける教育を提供しています。 ・ 2025 年度の社内研修では、「ガゼットだからこそできる SDGs の取り組み」をテーマに、各教室で社会課題について調査・学習し、具体的な取り組みを考えてプレゼンテーションを行いました。社員自身が SDGs を学び、事業活動とのつながりを考える機会としました。 ・ 2026 年度は、フードロスや生活困窮者支援に取り組む ecoeat 那覇与儀店と連携し、小学生を対象としたイベントを実施しました。子どもたちがフードロスの現状や日常生活でできる対策、地域で行われている支援について学び、身近な社会課題について考える機会を提供しました。 【12. つくる責任 つかう責任】 ・ ecoeat 那覇与儀店との連携によるイベントを通じて、子どもたちがフードロスの現状や食品を無駄にしないために日常生活でできることについて学ぶ機会を提供しています。 ・ 学んだ内容を夏休みの自由研究としてまとめることで、フードロスを身近な問題として捉え、自ら考えるきっかけとしています。 【17. パートナーシップで目標を達成しよう】 ・ フードロスや生活困窮者支援に取り組む ecoeat 那覇与儀店と連携し、教育と地域活動を組み合わせた子ども向けイベントを実施しています。 ・ 今後も地域や関係団体との連携を通じて、子どもたちが社会課題について学び、考える機会を提供していきます。 普及に向けた予定している具体的な取組 次年度以降も、地域や子どもたちを対象としたイベント等を通じて、SDGs や身近な社会課題について学び、考える機会を提供し、SDGs の普及啓発に取り組みます。	

SDGs の達成に向けた取組

		また、当社のホームページや SNS 等を活用し、イベントの実施や SDGs に関する取り組みを発信することで、子どもたちや保護者、地域の方々に SDGs への関心を広げていきます。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載 不要	有限会社 成登建設 代表取締役 仲地 千亜莉	有限会社成登建設は、確かな技術と誠実な施工を通じ、環境保全と地域社会の持続的な発展に寄与いたします。SDGs 経営の実践を通じて社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆様からの信頼に応える、より豊かな社会の構築を目指してまいります。 安全・安心な地域社会への貢献（1. 貧困をなくそう） ・日本赤十字社や地域活動への継続的な寄付、部活派遣等を通じた社会貢献 ・暴力団追放県民会議の賛助会員としての反社会的勢力排除、および下請け企業の不当介入防止に向けた徹底した排除要請 健康で働きやすい職場環境づくり（3. すべての人に健康と福祉を） ・社内への血圧計設置による日常的な健康チェックの実施 ・空調服や対策飲料の支給による熱中症予防 ・年 1 回の定期健康診断・人間ドックの受診徹底と、再検査が必要な社員へのきめ細やかな受診勧奨 ・「うちなー健康経営宣言」の登録による全社的な健康経営の推進 労働環境の効率化と技術向上（4. 質の高い教育をみんなに・8. 働きがいも経済成長も） ・ICT 等の活用による労働環境の効率化 ・資格・免許の取得支援および継続学習制度（CPDS）の受講サポートを通じた高度な建設技術の習得 環境保全と品質向上（14. 海の豊かさを守ろう・15. 陸の豊かさも守ろう） ・海岸や道路の地域清掃ボランティア（年 1 回）および施工現場周辺の美化活動の実施 ・ISO 14001（環境）および ISO 9001（品質）の認証取得に基づく、品質向上・環境保護・地域環境への柔軟な対応 ・クラウドアプリの導入やペーパーレス化による資源消費の削減 ・赤土流出防止や低公害型建設機械（低燃費・低騒音・排出ガス対策型）の導入 ・地産品再生材（ゆいくる材）等のリサイクル材活用と廃棄物の厳格な分別 ・マニフェストによる適正処分と環境負荷の最小化 普及に向けた予定している具体的な取組	

SDGs の達成に向けた取組

		今後の具体的な取り組みとして、「おきなわ SDGs パートナー」ロゴマークを公式ホームページに大きく掲示し、当社の活動を広く発信してまいります。また、本業の事業活動と SDGs の結びつきを意識した情報発信を継続的に行うことで、社員一人ひとりの意識を高めるとともに、地域社会における SDGs の普及推進と意識の向上に貢献してまいります。	
--	--	--	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載 不要	有限会社村元建設 代表取締役 村元 翔太	私たち有限会社村元建設は、沖縄県伊江村を拠点に、建設業を通じて地域のインフラ整備と住みよい環境づくりに取り組んでいます。SDGs の理念に賛同し、「経済・社会・環境」の 3 分野において以下の取り組みを推進し、持続可能な地域社会の実現を目指します。 【経済】地域・インフラ・技術（SDGs ゴール 8、9、11） - 伊江村を中心とした公共工事（漁港改良整備工事、農道整備、水道施設工事など）の確実な施工を通じ、災害に強く持続可能な地域インフラの維持・強靱化に貢献しています。 - ISO9001 の認証を取得（2023 年 12 月）・運用し、継続的な施工品質の向上と業務の効率化を図っています。 - 地元での事業展開を通じて、地域経済への貢献と安定した雇用の創出に努めています。 【社会】人・安全・働き方（SDGs ゴール 3、4、8） - 伊江村建設業協会を通じて伊江村と「災害時における応急対策等の支援に関する協定」を締結し、地域の防災・減災活動および有事の際の迅速な復旧支援体制を構築しています。 - 建設業退職金共済制度（建退共）、中小企業退職金共済、および建設労働災害補償共済保険（建設業福祉共済団）へ加入し、従業員が安心して長く働ける充実した福利厚生と労働環境を整備しています。 - 建設業経理士や各種施工管理技士などの資格取得を会社として支援し、継続的な人材育成と技術力の向上に取り組んでいます。 【環境】環境保全と資源循環（SDGs ゴール 12、13、14、15） - 各種解体工事において、法令に基づく適正な分別解体を実施し、建設廃棄物のリサイクルおよび適正処理を徹底しています。 - 特定自主検査等の定期的なメンテナンスにより建設機械（ショベルカー、ローラー等）やダンプ車両を良好な状態に保ち、長寿命化と排出ガスの抑制（環境負荷低減）に努めています。 普及に向けた予定している具体的な取組 「おきなわ SDGs パートナー」のロゴマークを名刺、会社案内、自社事務所および	

SDGs の達成に向けた取組

		工事現場等に掲示し、地域住民や協力会社に対して SDGs の認知度向上と啓発を行います。 ・ 協力会社への発注や現場での朝礼等において、環境配慮や安全衛生に関する周知を行い、サプライチェーン全体での SDGs 推進を目指します。 ・ 社内において従業員向けの SDGs に関する勉強会や情報共有を行い、一人ひとりが SDGs を意識した行動をとれるよう社内浸透を図ります。	
--	--	---	--

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
記載 不要	株式会社 めいわ総建 代表取締役 山川 和明	当社は、沖縄の豊かな自然環境を守り、地域社会とそこに暮らす人々、そして共に働く社員が幸福に満ちた社会の実現を目指し、SDGs の取り組み方針としては、「経済」「社会」「環境」の3側面から以下の具体的な取り組みを実施いたします。 1. 「経済」に関する取り組み（製品・サービスの提供など）建設業の本業を通じたサービスの提供により、持続可能な地域経済の発展と、安全・安心なインフラ・住環境の構築に貢献します。 ・強靱なインフラ・住環境の提供（目標 11・9）：災害に強く、誰もが安心して長く住み続けられる高品質な建設工事・施工サービスの提供を通じて、地域の持続可能なまちづくりに貢献します。 ・業務効率化と DX の推進（目標 8）：施工現場や社内業務において ICT 技術や DX ツールを積極的に導入しています。これにより、生産性の向上と付加価値の高い建設サービスの提供を両立し、地域経済の持続的な成長を支えます。 ・地元のサプライチェーン活用（目標 12）：資機材の調達において、県内企業からの優先調達（ローカルファースト）や環境配慮型資材の選定（グリーン調達）を推進し、地域経済の循環と持続可能な生産・消費形態の確立を目指します。 2. 「社会」に関する取り組み（社会面に効果がある取り組み）社員一人ひとりが働きがいを持てる職場環境の整備と、地域コミュニティの一員としての社会貢献活動を実践しています。 ・働き方改革と健康経営の実践（目標 3・8）：業務の効率化を徹底し、長時間労働の是正や有給休暇の取得促進といった働き方改革を断行しています。さらに、社員の心身の健康維持とチームワーク向上のため、定期的な社内レクリエーション（親睦イベントやスポーツ大会等）を積極的に企画・促進し、誰もが生き生きと働き続けられる職場環境をつくります。 ・地域コミュニティとの共生とスポーツ振興（目標 11・17）：県内で開催されるマラソン大会をはじめとしたスポーツイベントへの積極的な参加や協賛・ボランティア協力を通じて、地域住民の健康づくりの文化を応援し、地域経済やコミュニティの活性化に貢献します。 ・次世代育成と防災連携（目標 4・11）：地域の児童・学生を対象とした現場見学会やインターンシップの受け入れを行い、地域の未来を担う人材育成に寄与します。また、災害時における地域社会の迅速な復旧支援体制を構築するため、日頃から地元の関係各所とのパートナーシップを強化しています。 3. 「環境」に関する取り組み（環境面に効果がある取り組み）美しい沖縄の自然	

SDGs の達成に向けた取組

	環境を守り、次世代へ引き継ぐため、事業活動における環境負荷の低減と、美化活動に取り組んでいます。 ・建設廃棄物の削減とリサイクルの徹底（目標 12）：施工現場における廃棄物の徹底した分別と適正処理を行い、建設副産物のリサイクル率向上に努めることで、資源循環型社会の実現に貢献します。 ・クリーン施工による環境負荷の低減（目標 13）：重機のアイドリングストップの徹底や、低騒音・低燃費型機材への計画的な移行により、工事に起因する二酸化炭素（CO2）排出量の削減と、周辺的生活環境への負荷軽減に取り組めます。 ・地域の環境美化・ボランティア活動（目標 14・15）：地域の自治会や関係団体と連携し、道路、河川、海岸などの定期的な清掃ボランティア活動に社員が自発的に参加し、沖縄の豊かな生態系と美しい自然環境の保護に努めています。 普及に向けた予定している具体的な取組 今後の具体的な取り組みとして、「おきなわ SDGs パートナー」ロゴマークを公式ホームページに大きく掲示し、当社の活動を広く発信してまいります。また、本業の事業活動と SDGs の結びつきを意識した情報発信を継続的に行うことで、社員一人ひとりの意識を高めるとともに、地域社会における SDGs の普及推進と意識の向上に貢献してまいります。	
--	---	--